

心に残る文化財子ども塾 大田市立志学小学校

1.活動の概要

6月26日(木)、大田市立志学小学校で、6年生5名を対象に「心に残る文化財子ども塾」を実施しました。

はじめに、奈良の大仏が作られるに至った時代背景や製作に必要な作業量、製作に必要な銅など金属の量を説明しました。また、「国分寺・国分尼寺建立の詔」によって島根県の出雲・石見・隠岐にそれぞれ国分寺・国分尼寺が建てられたことについても解説しました。そして奈良時代の島根県西部で見つかった須恵器の坏や蓋、壺に触れてもらいました。土器に触れるのは皆初めてで、手触りや用途について考えてもらいました。

次にそして大仏パネルの製作に取り掛かりました。子どもたちは少ない人数でも大仏の特徴を見つけて協力してパネルを並べ、実物大の大仏の大きさを実感しました。そのあと大仏パネルの上で記念写真を撮りました。クラスの力をあわせて大仏を完成させて、その大きさを実感した一日となりました。

2. 活動の様子



3.活動を終えて

1) 児童の皆さんから

- ・大仏パネルを集めることやみんなと協力してパネルを作って完成させたときに心に残りました。
- ・大仏作りで見つけることがむずかしかったけど、完成したときはうれしかったです。
- ・島根県にも国分寺があるなんて知りませんでした。
- ・大仏が想像よりもでかかったこと。
- ・みんなでパネルの番号を教えあって協力できました。
- ・他の時代のことや奈良時代の人をもっと知りたいです。
- ・博物館に行ってもっと奈良時代のことについて知りたいです。
- ・奈良の大仏を作ってみて、実際の大仏はどのくらいなのか見てみたいです。歴史博物館に来年の10月になったら行って、歴史のものをたくさん見て学びたいです。

2) 先生から

大仏が作られた背景を教えていただいたり、奈良時代の須恵器を見せていただいたりしたこと、巨大な大仏が完成し、大きさを実感的に理解できたこと、そして平面で作るだけでも大変だと感じ、立体で、さらに手作業で作っていた当時の大変さを感じることができたことが印象に残りました。とてもよい取組だと思うので、継続してほしい。

3) 博物館から

事前に訪問して、体育館の大きさ、大仏パネルの搬入経路を確認しておいたので、当日の準備もスムーズに行うことができました。当日は慌てることなく計画したスケジュールで行うことができました。少ない人数にもかかわらず大仏パネルを手際よく組み立てを行ったので、比較的早い時間で並べ終わりました。大仏パネルを完成させたときに他の学年の児童から「おめでとう！」と言われたのがとても印象的でした。